

2024年度 社会福祉法人つばみ会 上池台保育園 保育自己評価表

【ねらい】

保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、保育所の望ましい管理運営するため、今年度の本書の保育、教育全般等を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かすための本表を活用する。

1. 保育理念・目標・計画・評価

内容		反省・評価
1	保育士一人ひとりが園の方針を理解している	保育の方針や子ども一人ひとりを大切にすることは何か？を常にクラス会議で話し合ってきた。また、副園長が主体となり子どもの見方や職員同士のコミュニケーションの取り方についての研修を行なった。来年度は、研修の回数を増やすことと階層に分けて行い理解の深度を深くしていきたい。
2	保育方針や目標に基づいて、クラスの年間計画を立てている	
3	子ども一人ひとりの主体性を大切にしたい保育をしている	
4	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している	
5	保育者は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている	

2. 保育の内容

内容		反省・評価
1	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている	発達段階に合わせた援助ができるように、毎月クラス会議を行い各クラス一人ひとりの様子を聞き取りをした。その内容に合わせて日課の変更や援助の方法を変えていった。 年間の行事内容も昨年度の踏襲をするのではなく、子どもたちの発達・興味に合わせて運営をした。 職員育成の中で保育についての研修を毎月1回行えるようにしていきたい。
2	一人ひとりの思いを受け止め、その思いをできるだけ実現しようと努めている	
3	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている	
4	子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	
5	身体的、精神的、情緒的発達や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	
6	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室作りを心がけている	
7	行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している	
8	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている	

3. 保育所の組織・役割分担

内容		反省・評価
1	豊かな集団育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	職員会議で各クラスの状況や子どもたちの情緒や身体の発達について共有をしている。事故が起きた際には即日に対策委員会を開き、早期に改善を行なっている。 毎月事故防止委員会という災害や園内のハザードを検討する会議を設けることで、保護者・子どもたちが安心して過ごせる環境を整えている。
2	研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる	
3	研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に活かされている	
4	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	
5	保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている	
6	各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている	
7	各職員が職員会議等で、必要と思う質問や意見を発現することができている	
8	火災・地震・不審者進入等の危機管理に努めている	

4. 家庭・地域社会・情報

内容		反省・評価
1	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心がけている	保護者満足度調査と各行事の満足度調査を行い常に改善に努めている。また、お迎え時に子どもたちの成長を伝えるように指導している。 保護者からのアンケートにも、一人ひとりの職員がよく子どもを見てくれていると回答をいただいている。
2	送迎時に子どもの姿を保護者に伝えている	
3	保護者の子どもの伸びているところや課題を伝える等、連携をとっている	
4	園だより、クラスだより、保健だより、給食だより、掲示板、ブログ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	
5	地域や保護者の意見を保育や運営に反映している	

5. 事務管理・運用

内容		反省・評価
1	個人記録簿は、適切に記載し、整理管理できている	個人情報などの管理は確実にできている。帳簿なども全て施錠ができるキャビネットに保管し漏洩がないように努めた。また、金銭を扱う職員を限定し適切に処理が行えるように徹底している。
2	園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている	
3	金銭などを取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている	